



令和8年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

デザイン経営企業

パナソニック ホールディングス株式会社

代表取締役 社長執行役員 グループCEO
楠見 雄規

企業概要

<https://holdings.panasonic.jp/>

所在地：大阪府門真市大字門真1006番地

創業：1918年

資本金：259,600百万円

従業員：207,548名(連結)

事業概要：家電や住宅設備をはじめ、製造・物流現場の機器やシステム、モビリティ・社会インフラを支える電池や電子部品などの製品・ソリューション提供



受賞のポイント

- ①家電事業において、将来どのような価値が暮らしの領域で求められるかを起点に、「未来起点・人間中心」のアプローチで新製品を開発するプロセスが定着。代表事例として、価値観の変化を敏感に捉え、次代の身だしなみの象徴を目指した手のひらサイズのシェーバーは、50万台（2026年1月時点）の大ヒットを記録。
- ②この検討プロセスを製品開発だけでなく、経営活動全体に展開するため、経営者主導による「デザイン経営実践プロジェクト」を実施。事業単位でワークショップを開催し、目指すべき未来社会像と事業存在意義を明確化。その中で長期的に実現したい顧客価値を起点に事業や技術開発の目的を定め、事業変革や技術開発が加速。
- ③知財部門は開発初期段階から関与し、知財情報を活用して新事業創出の発想を支援するとともに、開発成果を知財活動に結びつけ、事業の優位性と安全性の確保に貢献。
デザイン部門の役割は、社内の他部門にも浸透。製品単体のみならずテレビCMなどもブランドを構築する顧客接点と捉え、全ての顧客接点を一貫性のある世界観で構築することによりブランド価値の向上を図っている。



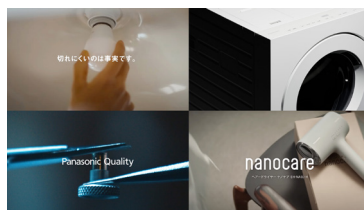
シェーバーの当たり前を見直して
生まれたラムダッシュ パームイン



経営者主導による
デザイン経営実践プロジェクト



未来起点・人間中心の思考を促す
未来の兆しカード



独自の一貫した世界観をつくる
コミュニケーションデザイン